

紀伊國神名帳

山田家藏

南海道紀伊國神名帳

七郡

名草 伊都 那賀 海士 有田 日高 牟婁

国内勸請給大小諸大明神百九十三社

官知神七十五社

未官知神百十八社

名草郡坐八十九社

官知神四十四社

天神十四社

日前大神宮

國懸大神宮

正一位勲八等伊太祁曾大神

正一位鳴大神

正一位達大神

正一位志摩大神

正一位靜火大神

正一位春日大神

正一位有馬音大神

正三位須佐大神

從一位上都摩都比賣大神

從一位上大屋大神

從四位上島大神

從四位下妻都比咩大神

地祇三十社

正一位高橋大神

正一位直姬大神

正一位紀氏栗栖大神

正一位大衣笠持大神

從四位上楠本大神

從四位上名艸姬大神

從四位上名艸彦大神

從四位上兩手力男神

兩ノ誤字カモシシカラハ阿米乃ト訓シ

從四位上竈山社

從四位伊勢部楠本神

從四位上府守神

從四位上高積比賣神

從四位上氣津別神

從四位上伊久比賣神

從四位上加七七神

從四位上朝棕神

從四位上摩爲比賣神

十四位上國主神

從四位上高積比古神

從四位上香都知神

從四位上羊都彥神

從四位上海神

從四位上生津比賣神

正五位下吉井駒島明神

從四位上刺田比古神

從五位下大歲神

從五位下芝原神

從五位下吉禮津姫神

從五位下寶歲神

從五位下伊野土神

末宮神四十五社

伊都郡坐十九社

宮知神五社

天神二社

正一位丹生高野御子神

正一位勲八等丹生津比咩大神

地祇三社

正五位上天手力雄長足魂住吉神

從五位上小田神

從五位上稻積神

未官知神十四社

那賀郡坐二十九社

官知神七社

天神社三社

正一位御船大神

正三位正哉吾勝々速日天忍穗耳大神

從五位上浦上國津姫大神

地祇四社

正二位豐海神

正三位天言代主神

從四位上荒田神

從四位上前神

未宮神二十二坐
地落力

海部郡坐十社

宮知神二社

從四位上玉出島大神

從四位上粟島大神

未宮神八社
地落力

有田郡坐九社

宮知神三社

從一位須佐大神

從四位上國津神

正五位下水主明神

未宮知神六社

日高郡坐十二社

宮知神三社

正三位御崎大神

從二位上山神

從四位上早穗神

未宮知神九社

牟婁郡坐二十五社

宮知神十一社

天神三社

正一位家都御子大神

正一位熊野夫須美神

正一位御子速玉火神

從四位大佐神

從四位飛瀧神

從四位滝姫神

從四位上海神

從四位上安宅比神

從四位上豊海神

從四位上底海神

未宮知神十四社

午頭天王頗梨來女八王子蛇毒氣神王八万四千眷属

金剛藏王大菩薩三十八所

白山妙理權現五萬八千菜女

八幡三所大菩薩

伽藍法十八譚神等

紀伊國神名帳終

右神明帳万治年中出ニ於名草郡直川一而未レ知ニ記者之姓名
一嗚呼無ニ此書一者吾本國紀伊之神位等級何以口識乎見者
思レ之矣

右者白鳥院主ヨリ傳來レ之而源里貞染筆ス又橘良春写レ之
事

寶曆四年□二月日

あとがき

『紀伊國神名帳』の写本が父の蔵書にあるとは、全然知らなかった。父の筆写した郷土資料をデジタル化している、と、よくこの『紀伊國神名帳』が出てくる。どんな内容のものだろうと興味があったが、紀伊國神社の神位・等級を七郡別に並べたものであった。

この神名帳は、前ページに書かれている通り、万治年中に直川村の観音堂から発見されたと云う。記述された年代は不明だが、この写本は宝暦四年二月に橘良平春氏が書写したと記されている。しかし漢字の字体や、本の傷み具合・製本の仕方から更に新しく、ヒヨットすれば昭和二十

年代の写本かも思われる。昭和四十八年に京都の古書店思文閣で購入した時の領収書が挟まれており、何と四千円もしていた。現在になおすとどの位になるのだろうか。またそれだけ価値のある古書なのだろうか。今これをホームページで公開すれば、同好の人達は瞬時に何時・何処でも読むことが出来る。何と便利な時代になったものである。

平成十八(二〇〇六)年十一月二十一日

清水章博